

「親睦活動月間」によせて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
高島 凱夫



6月は今年度の最終月にあたりと共に、ロータリー親睦活動月間(Rotary Fellowships Month)の月でもあります。

ロータリー親睦活動要覧によると、ロータリー親睦活動は、共通の職業や関心を持つロータリアンとその配偶者、そしてローターアクターから成る国際的なグループで、各グループによって独自に運営されています。その会員は、ロータリー親睦活動を通じて楽しみを分かち合い、国境を越えた親睦を深め、いっそう充実したロータリーの経験を味わうことができます。

「ロータリー親睦活動」は、国際奉仕の一部門であり、現在、100近い親睦グループがあり、趣味や職業活動を通じて、国際親善と奉仕に貢献しています。様々な御意見はありますが、本来は地区に地区親睦活動委員会を設置するよう奨励されています。多くのロータリアンが、親睦活動に参加することを奨励するために、この月間が設けられた訳です。

ヨットに関心のあるロータリアンのグループが、自分たちの船にロータリーの旗を掲げ、自らをロータリアンの国際ヨット親睦グループと名乗りました。現在、最も長く活動を行っているのが、このヨット親睦グループです。親睦

活動の種類は、時を経るごとに増えてきましたが、その目的は今日も変わっていません。それは、親睦の下にロータリアンの繋がりを築き、趣味や職業に関連した活動を楽しむ機会を提供することです。グループならではの特別なスキルを利用して奉仕を行っている親睦グループも多くあります。例えば、カヌーの親睦活動グループは、河川の清浄プロジェクトを実施し、コンピューターの親睦活動グループは、各会員の地元でパソコン研修を行い、スキューバダイビングのグループは、ダイビング目的の旅行先でロータリーの奉仕活動に参加しています。

RIでは、親睦活動グループの結成に関する方針を定めています。会員資格を有するのは、ロータリアン、ロータリアンの配偶者、及び、ローターアクターです。

親睦活動を推進する上で重要なことは、5つの中核的価値観の中の「多様性」の尊重ではないかと考えます。あらゆる個人、職業、人種、宗教、性別、戸籍などを十分に理解し、尊重することが大切ではないかと思えます。又、姉妹クラブ、友好クラブとの交流が休眠状態であれば、自らもう一度再開することも国際親善、国際交流に大きな役割を果たすものと確信いたします。